

トプバシュ・イスタンブール市長主催朝食会の開催  
(2016年4月18日 於：エミルギャン公園内ベヤズ・キョシュク)

4月18日、エミルギャン公園内ベヤズ・キョシュク（通称ホワイト・パビリオン）において、カディル・トプバシュ・イスタンブール市長は、江原総領事及びイスタンブールの日本企業代表者らを招待し、朝食会を開催しました。

トプバシュ市長は、4月初旬に訪日し、姉妹都市である下関市を訪問するとともに安倍総理を表敬しました。同市長はその訪日成果を報告するとともに、この朝食会で日本の皆さんの最近の治安情勢などを含む率直な声を伺いたいと述べました。

これに対し、江原総領事は、訪日の成功を祝しつつ、イスタンブールには約1500人の邦人が在住し、日本人会に登録されているだけでも約90社の日本企業が活動中であり、安全面について引き続き尽力願いたい等述べました。出席の日本企業代表者より企業の活動について紹介するとともに、治安情勢や交通渋滞などの企業活動における諸問題などについて意見交換が行われました。

また、トプバシュ市長は、来年2017年のイスタンブール市と下関市の姉妹都市45周年を記念して市内のマルマラ海の海岸沿いへの桜並木計画を着手したと発表するとともに、イスタンブールにおける日本企業のより一層の関与を期待したいと述べました。



朝食会の様子